

エピナスチン塩酸塩内用液 0.2% 「NIG」

【この薬は？】

販売名	エピナスチン塩酸塩内用液 0.2% 「NIG」 Epinastine Hydrochloride Oral Solution 0.2%
一般名	エピナスチン塩酸塩 Epinastine Hydrochloride
含有量 (1mL 中)	2mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アレルギー性疾患治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、アレルギーの原因となる物質（ヒスタミン）や炎症をおこす物質の作用を抑え、アレルギー症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

気管支喘息

アレルギー性鼻炎

蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚掻痒症、痒疹、痒疹を伴う尋常性乾癬

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にエピナスチン塩酸塩内用液「NIG」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・長期ステロイド療法を受けている人
- ・肝臓に障害のある人または過去に肝臓に障害があった人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

〔気管支喘息、蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚掻痒症、痒疹、掻痒を伴う尋常性乾癬で使用する場合〕

一回量	10mL
飲む回数	1日1回

〔アレルギー性鼻炎で使用する場合〕

一回量	5～10mL
飲む回数	1日1回

●どのように飲むか？

決められた1回量を、計量カップ、スポイトなどではかり、飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

〔気管支喘息治療の場合〕

- ・この薬は、気管支拡張剤やステロイド剤とは異なり、すでに起こっている喘息の発作や症状を速やかに改善する薬ではありません。患者さんまたは家族の方は、正しい使用方法について、十分に理解できるまで説明を受けてください。

〔この薬を使用される全ての方に共通〕

- ・眠気があらわれることがあるので、この薬を飲んでいるときは車の運転等の危険を伴う機械の操作に気をつけてください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。

これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、体がかゆくなる、出血が止まりにくい
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、歯ぐきの出血
腹部	食欲不振
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

剤形	内用液 
色・性状	無色～微黄色澄明の液

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	エピナスチン塩酸塩
添加剤	安息香酸ナトリウム、塩化ナトリウム、精製白糖、pH 調節剤、香料

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

発 売 元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL（フリーダイヤル）：（0120）039-215

受付時間：9時～17時（土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く）

製造販売元：日医工岐阜工場株式会社